

ご挨拶



豊橋技術科学大学
電気・電子情報工学系 教授
未来ビークルシティリサーチセンター

センター長 大平 孝

平成 27 年 4 月に当センターが第 3 期の活動をスタートし 5 年の月日が経とうとしています。当センターは、スマート未来ビークルシティ事業として「低炭素社会と産業育成コア」、「低炭素社会と安全・安心コア」、「低炭素社会と先端省エネルギーコア」の 3 つのコアからなる組織のもと研究開発に取り組んでいます。具体的には化石燃料依存から脱却できる産業の育成と省エネルギーの革新的研究開発、ITC 技術などを活用した様々な世代の交通弱者に配慮した安全安心な交通環境の実現を目指しています。

特に本年度は未来ビークルシティ実現のキーテクノロジーであるエネルギー蓄積技術開発に向けた研究成果として高容量リチウムイオン電池の実現を狙うリン化錫カーボン複合膜の金属基板上形成に成功しプレスリリースを行いました。また未来ビークル都市創造に貢献する冷凍空調技術と超音波利用技術の最前線に関するシンポジウムを開催しました。さらに愛知県知の拠点重点研究プロジェクトに応募しパーソナルビークル・ロボットの 2 次元平面走行中ワイヤレス給電技術ならびに先進プローブデータ活用型交通安全管理システム開発が採択され研究に着手しました。昨年度から内閣府に採択された国家プロジェクト研究ドローン無人ワイヤレス充電ステーションの研究も継続しています。写真は産業用ドローンに電界結合型受電器のプロトタイプを初めて搭載する実験の様子です。本リサーチセンターは新年度も継続して活動してまいります。皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

